



各小・中学校入学式

議会だより



定例会3月会議

【主な記事】

- 今後の方針を問う（一般質問）…………… 2
- 令和3年度予算審議 …………… 3～13
- 条例改正等、議会日誌 …………… 14
- 行政報告 …………… 15
- 定例会3月2回会議
常任委員会レポート・編集後記 …………… 16

令和3年5月

NO 191

一般質問



安楽議員

～町の動きの映像保存について～

安楽議員 私の方からは、町の動きの映像保存について町長に質問させて頂きます。「レガシー」という言葉を度々目にし、耳にすることがあります。色々な意味合いがある中、最近では「後世に何を残すか」といった時にも引用されることが多いようです。我が町としても後世に諸々なものが残されていると思いますが、映像として保存することにより、後輩たちが過去の映像を見てまちづくりの資料に活用し、また、町の行事だけでなく町全体の動きを、例えば漁業の実態を映像に残し後継者育成等の資料にも活用出来るのではないかと考えられます。一枚の写真や文章などの資料は勿論必要不可欠なものでありますが、映像はそれに付加価値を付け、豊かな連想を呼び起こすことが出来るのではないだろうかと考えられます。そのような観点から町が主体となり町の動きの映像を残すことの必要性について検討する考えはないか、町長の所信を伺います。

町長 利尻富士町という自治体が過去からの歩みや映像記録、また、資料等を現在に至るまで作成・保存し、未来の人々に引き継ぐことは何時の時代にも行政に課せられた不可欠で取り組

まなければならない事業であります。現在、町の映像保存については、担当課でそれぞれ式典や建築物、漁業、観光、お祭り、文化的などのものを保存しており、一元化する担当課部署も無く、膨大な量であると推察しております。現代社会には、映像を残す手段は何時どこでも誰でも簡易に保存できる状況にあり、町としても必要な時点で行事等を個別に撮影し、編集、保存して活用している状況であります。今回、質問を受けて改めて町の姿、歩み、出来事の映像を記録しておくことの重要性を強く認識したところであります。庁舎内でのような映像を保存しているのか、また町内個人、団体等に記録保存されている映像資料も含め、調査を実施してみたいと考えております。現在、集約する所管課が無いのと専門の係りや職員を配置するのは無理ですが、企画政策課に広報担当という係りもありますが、事務文書する所管課を早めに決定し、そこで記録保存しながら町全体で共有、活用出来るものを作成したいと考えております。勿論、今日現在までの映像を集約して終了するものではなく、今後、将来にも引き継いでいくためにも、記録保存の基準とな

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

る物を作るため検討します。内容も偏った編集では駄目だと思いますので、行事等やその他、都度担当課で撮影した映像をどのような形で映像保存するのか検討しながら進めて参りますのでご理解を賜りたいと思います。

議員 非常に前向きな答弁を頂き、ありがとうございます。過去には、大なり小なりそのようなものが保存されていることは存じておりましたが、職員の中でその任に立つ人は大変な負担になると思います。民間委託という手法もあるんじゃないかなとも判断します。町長が今後検討するということですから、一つご検討のほど再度お願い申し上げます。

(以上)

令和3年度総予算額 (一般会計・各特別会計)

61億7,140万円を可決

令和3年定例会3月会議は、3月10日～12日の3日間開催され、町政執行方針、教育行政執行方針の表明のほか、令和2年度各会計補正予算、令和3年度各会計予算、条例改正などを慎重に審議し、いずれも原案通り可決。

【歳出】一般会計目的別予算の内訳

一般会計	予算額	前年増減	前年度比
議会費	4,475万円	△16万円	△0.4%
総務費	6億3,385万円	2,455万円	4.0%
民生費	4億9,864万円	△2,748万円	△5.2%
衛生費	3億1,506万円	805万円	2.6%
労働費	8万円	0	0.0%
農林水産業費	1億6,718万円	4,810万円	40.4%
商工費	2億174万円	2,817万円	16.2%
土木費	8億5,945万円	5,754万円	7.2%
消防費	2億3,061万円	3,519万円	18.0%
教育費	2億4,660万円	△655万円	△2.6%
地方創生費	2,035万円	△1,047万円	△34.0%
公債費ほか	10億4,139万円	△7,937万円	△7.1%
歳出合計	42億5,970万円	1億9,440万円	4.8%

【歳入】一般会計項目(款)別予算の内訳

一般会計	予算額	前年増減	前年度比
町税	2億8,243万円	530万円	1.9%
地方譲与税	2,411万円	14万円	0.5%
地方消費税交付金	7,000万円	1,000万円	16.7%
地方交付税	21億8,300万円	△4,200万円	△1.9%
分担金及び負担金	1,579万円	103万円	7.1%
使用料及び手数料	1億1,098万円	451万円	4.2%
国庫支出金	1億5,375万円	2,341万円	18.0%
道支出金	3億8,572万円	5,861万円	17.9%
財産収入	2,522万円	275万円	12.2%
寄付金	2億5,000万円	5,000万円	25.0%
繰入金	2億5,887万円	△2,791万円	△9.7%
繰越金	100万円	0	0.0%
諸収入	1億1,694万円	2,385万円	25.6%
町債	3億7,330万円	8,470万円	29.3%
その他	860万円	0	0.0%
歳入合計	42億5,970万円	1億9,440万円	4.9%

令和3年度予算審議(要約)

総務費

定住促進事業委託料の事業内容は

Q 藤井議員 本年度は362万8千円の予算で、対前年で461万6千円の減額になっているが、これは組織体制や管理者もいない支所にするという意向の予算組みなのか教えて頂きたい。

A 鬼脇支所長 昨年度、非常用発電機の整備をしました。その工事費分が、今年度落ちるということでご理解頂きたいと思います。

雇用機会拡充事業の

具体的な事業内容は

総務費

町内事業者の事業拡大に対する補助

Q 飯田議員 雇用機会拡充事業補助金750万円予算計上されているが、具体的な事業はどういった内容のものなのか。

A 企画政策課長 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金の雇用機会拡充事業というメニューを活用し、町内事業者の事業拡大に対する補助金です。負担割合としましては国が2分の1、町が4分の1、そして事業者が4分の1となっており、その内、国と町の4分の3分として750万円計上しております。事業者については、現在は登山やトレッキング、自然散策など夏の観光客向けにガイド業を展開しており、それに加え利尻島の自然、景観を生かしたサイクルツアーを取り入れて事業を拡大す

ることにより、インバウンド等の島外需要を取り込んだ集客の増加を図り、新たな雇用の場を創出するという内容でございます。制度上、国から交付決定を受ける要件として当初予算に計上していなければならぬとされておりますが、事業の適否につきましては3月22日に行われる審査会の結果を受けて最終的に町が判断することとなります。

Q 飯田議員 この事業というのは、これまでは無かった新たな事業ということですか。例えば、定住促進事業があります。その中に含まれるような事業だったのではないのかと思いますので、質問した訳です。あくまでも雇用機会拡充の事業として立ち上げなければ国の事業としての日程云々という、縛りがあるということですか。今まで似たような事業というのは、無かったということの解釈でよろしいでしょうか。

A 企画政策課長 最初に定住促進事業と雇用機会拡充事業の関係ですが、今まで交付金として定住促進事業の方は、離島活性化交付金という国の補助金でやってきました。今年はこの補助金は使っていないのですが、雇用が国境離島の補助金でやるということで分けて考えて頂ければ良いのかなと思いますし、それぞれの国の補助金のメニューに従ってやっていったという事業になります。そのうえで、雇用機会拡充事業になるのですが、平成30年度に町内の居酒屋で、Uターンして創業するというところで、今回計上するのは事業拡充という事業なんですけども、その平成30年度の時は雇用機会の創業という事業で1件採択しております。

総務費

2月末現在で23・6パーセント
マイナンバーカードの交付率は

Q 伊藤議員 個人番号通知書・個人番号カード関連事務交付金87万9千円と出てますが、目標というものを立てて交付をするのですか、今現状の交付率どのくらいか。

A 福祉課長 2月末現在では、カードを運用されている町内の方が561人おり、カードの交付率が23・6パーセントとなっております。参考までに全国では24・2パーセントということで、全国にほぼ近いような数字となっております。町長の執行方針でも申し上げました通り、このマイナンバーカードの交付に関しては今年度、令和3年度で自治会等を回りながら交付率の向上に努めて参りたいと思っておりますので、ご理解願いたいと思います。

Q 伊藤議員 マイナンバーカードに対しては、町長の執行方針にも普及啓発に努めるというようなお話も出てますので、これからも町民に対して普及率を高めて頂きたい。

衛生費

新型コロナウイルスワクチン
接種体制の進捗状況は

Q 飯田議員 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業ということで予算計上されているが、町の体制について先月、議員協議会や町長の行政執行でも取り組み、予定等もお聞きしました。最近の新聞やテレビの報道等では、ワクチンの供給量の関係で各市町村の体制が中々決まれないとのことで支障も出てるとも報道されております。これについては、本町のことを言えばどれだけ入ってくるのか分からないのでこうだということとは中々言いづらい部分はあるとは思いますが、体制について現時点での事業の進捗状況、ここまでは大抵の話はついて

いますというようなことがあれば、お聞かせ願いたい。それと例えば、その中でも接種券の関係や老健、秀峰園の入所者の関係、施設入所の対応など色々調整もしなければ駄目な部分もあるかと思えますし、鴛泊診療所の先生、鬼脇地区については道立の先生ということになると思いますけれども、そうなれば道の施設との絡みもありますから、そういった契約的なものとか必要なものもあるかと思えますので、現時点での体制、はつきりしているものがありましたらお知らせ願いたい。

A 総合福祉保健センター所長 コロナワクチンにつきましては、町長の行政報告にもありましたとおり、到着日が未定となっております。4月26日の週には全市町村に1箱ずつ配布ということになっておりますが、EUの承認等の関係もありまして、まだ確定の日にちが来ておりません。ただ、その後に届くということをお前提として準備を進めているところであります。接種券は、65歳以上の分については、印刷業者の方に外注しておりますけど、現在、校正作業に入っております。今月中には印刷が完了する予定となっております。またワクチンを保管します超低温冷凍庫ディープフリーザーにつきましては、3月29日配置予定ということになっておりますが、そこに必要な電線配線工事につきましては、すでに終了しております。また秀峰園、老健の施設入所者についてですけれども、施設の方で接種出来るような体制をとということで、すでに秀峰園園長と老健施設長と接種体制については相談を進めておりまして、両診療所の先生、管理医の先生になりますけれども接種して頂けるよう今現在準備を進めているところです。鬼脇・鴛泊両集団接種会場は、鴛泊は鴛泊診療所、鬼脇地区は道立の先生のご協力が必要となりますので、1月に入ってからすでに診療所の職員の方とは実施について検討を進めておりまして、4月になりましたら様々な契約等もしていく予定となっております。

Q 飯田議員 診療所の関係とかも1月中に話をしているということ、正式な契約等については月が変わってからの内容も理解いたしました。と言いますのも対象になる人は接種券が行って、それを出して、調整して日程を決めて接種日が決まるというようなことかと思えます。当然、その年齢の人については気にしている人もいますかと思えます。お知らせ等待つてると思えますので、なるべく早く早めに周知する必要があると思えますので、よろしくお願いしたいと思います。

衛生費

令和3年度前期には仕上げたい

葬苑建設基本計画のスケジュールは

Q 飯田議員 葬苑の基本計画策定業務委託ということ、予算計上されておりますが、執行方針では地域懇談会等の意見を踏まえて計画を進めますというようなことで町長お話ししておりました。これから計画を作っていく段階で、色んな各機関と詰めていくこともあるかと、今までの地域懇談会などでまとめるということでは無いのだらうと思うのです。これからそういうのを踏まえ、どういったスケジュールで流れていくのか、その辺予定しているスケジュール等がお話出来るのであればお話ししたいと思います。

A 福祉課長 ご承知の通り本町の葬苑につきましては、鴛泊で42年、鬼脇で27年が経過しております。老朽化が進んでおります。これに伴い、建設構想については平成30年の地域懇談会において町長からその方向性について提案され、全地区の方に意見を伺いました。その結果、概ね建設位置は別とし、現状の2カ所あるものを統合すべきとして問題無いという了承を頂いております。今回、令和3年度で計上しております建設基本計画の策定につ

きましては、まず建設候補地の検討、火葬炉の個数、規模算定、ランニングコスト、周辺環境の調査、さらに今回、コロナウィルスの影響により葬儀の形態も一変したこともあり、施設の空間や間取りの検討を含め、道内市町村の事例を踏まえた計画を策定したいと考えております。町長から執行方針でも述べられましたとおり、環境や社会状況の変化に応じた人生終焉の儀式的場にふさわしいものとするために、また地域懇談会での意見も踏まえておりますので、検討のプロセスをしっかりと説明出来るような計画を進めたいと思っております。建設時期等につきましては、基本計画を令和3年度前期に仕上げたいと思っておりますので、早期に次の実施計画に運んでいけるよう、財源検討も踏まえながら判断材料を整えて参りたいと思っておりますのでご理解願います。

Q 飯田議員 まとまったものを何らかの形で住民やそれらの人たちに、周知と言いますか聞いてくと言うのか、それで最終的に固めて行くというようなことが必要になってくるかと思えます。これについても、うちに聞いてなかった、分からなかったというようないことが無いように、せっかくな事業ですので、誰からも後でどうのこうのって言われることのないように、周知といいますが、そういったのは徹底してやって頂きたいと思えます。

A 町長 住民の周知等の関係につきましては、前回地域懇談会で葬苑の関係のことを各地区それぞれ事情を伺い、最終的な建設場所が一番問題になるのだからということ、建設場所を今回基本計画をやるには、ある程度場所、候補地も計画の中に入れてくるんでしようけど、懇談会をやった時点で最終的にどこにするかはもう一度懇談会の場で聞きに来ますからと申し上げるので、町民全員が賛成するとは思ってませんので、やっぱり2つあるものを1つにする訳ですから色々時間的なこともあるでしょうし、環境的なことも考えながら、住民と相談

しながら、議会にも都度報告しながら進めて参りますので、ご理解願いたいと思えます。



鴛泊火葬場※築42年



鬼脇火葬場※築27年

農林水産業費

漁業系廃棄物処理事業補助金の内容

漁網処分のための補助金

Q 藤井議員 漁業系廃棄物処理事業補助金で41万9千円付けてる訳ですが、今世界的に環境問題と言うのが注目されていて、特にプラスチック関係の問題が世界的に問題になってる訳です。例えば、私たちは、日常的にコンビニでも行くとマイバックがあるかどうか聞かれ、無い場合はプラスチックの袋を有料で貰い物を詰め、さらに今はプラスチックのフックやスプーンとかも有料になるような話まで今来てますし、また海洋調査の方では、マイクロチップがどれだけ海水の中に含まれてるとか、或いは食物連鎖によってそういう物が海に生きてる生物にどのくらい捕食されてるとか、そういうニュースが頻繁に出るような時代になってきてるから漁網とかそれに類するものだとは思いますが、漁業者も環境に対し、意識したうえで自分たちの海の状況を把握し、漁業系の

廃棄物の処理をするように補助金を出し、環境を守るようにする補助金だと思いが、よく分からないので担当課長から説明願いたい。



流れ着いたペットボトルやロープなど

A 企画政策課長 漁業系廃棄物ということで、漁業者が出す漁網を対象に考えております。漁網を処分するには、現在利尻島内に漁網を廃棄出来る施設が無いということで、令和2年度にも同額補正予算を計上し、補助金を計上させて頂いてますけども、漁業協同組合が、漁業者の漁網をまとめて処理業者に海上輸送して、本土の処理業者に処理のお願いするという形になりますので、その経費に対する補助金という形で計上しております。

Q 藤井議員 前年度もこういう仕事をされてたということですが、実際、海岸に行くとか漁業関係で使われたような用具と漁網の切れっ端、ロープの切れっ端など、必ずしも日本で使われた物ではないと思うのですが、そういうような物が流れ着いて来ている。例えば、10年前の東日本大震災の時、海に流れ出た沢山の家屋とか漁業関係の道具とかは、アメリカの方の海岸に大量に打ち上げられて問題になったような時代もある訳ですけども、いずれにしても常に漁業者は自分たちの獲る魚種にマイク口チップの問題があり、さらに自分たちが使ってる用具が場

合によっては海の環境に良くない状況になることが起きるとか、海岸で拾い集めて、処分出来る場所に運搬してもらおうのしようけど、基本的には地球規模の海の環境ということを考えた中で、仕事を進められるのか再度確認したいと思います。

A 産業振興課長 海岸漂着物的なプラスチック類の話もあると思うのですが、そうなるも漁業者以外の一般の方でも関係することですので、広く皆が使う海岸を綺麗にしていこうという活動に当たる部分だと思えますので、その辺も私担当課となりますので、同じように海岸漂着流木等は処理しますが、プラスチック類の漂着物も処理の方を検討していきたいなと考えます。

農林水産業費

早急な整備が必要な場合の対応は

関係機関と協議し調整する

Q 飯田議員 治山施設維持補修費で流水区域の調査業務委託料として300万円予算計上されてます。昨年の豪雨被害被災箇所5地区8箇所を調査するとのことですが、調査をする訳ですからその結果が出ます。その結果が場所によっては早急な整備等が必要だということもあるかと思えます。そうなった場合、今回執行方針にも書いておりますが、それぞれ湾内地区やアフト口地区などというふうなことで、箇所付けしながら町長の説明もありましたが、それらの箇所が早急に整備が必要だとなった場合、どのような関係機関に、どういった働きかけ等含めて考えているのか、お聞かせ願いたいと思います。

A 建設課長 作成した調査結果は基礎資料として、水が



出てきてる源、その状況が確認できますので、関係機関と協議を進めるうえで共有資料として利用していきたいと思っております。調査後、早急な整備が必要となった場合の対応、関係機関はどこになるのかというような話でしたけども、まずは調査結果を基にその区域を所管する関係機関の調整から始めることになるかとは思いますが、早急な整備というのは難しいというのが現状だと思います。何かすぐに対応となれば、問題となってる箇所の応急的な対応から始まると思います。今回の調査は、あくまでも基本的な現状の調査になりますので、万が一早急な整備が必要になった場合は、新たに実施の調査と実施設計というような従前事業を起こすような内容のものからのスタートになると思います。今回の調査で水の発生源は何処なのかということも分かると思いますので、それぞれの事業を管轄している、例えば国有林、民有林それと土砂災害警戒区域内、町と国と北海道というふうな協議になると思えますので、迅速に協議して調整を図れるようにして行きたいと思えます。

Q 飯田議員 答弁の中にもありましたように、特に目につくのが湾内地区なんです。何か所か本格的な工事ではないですが、見て分かる通り応急的に単管を組んで板を貼ってというようなことで、とりあえず今やって頂いて

おりますけども、その後、正式な工事的なものも考えておられるんだろうなとも思いますし、昨年、町長、議長と岡本委員長と一緒に私も行きながら関係機関に北海道も含めて要望等も回らせて頂きましたけれども、早急にそして強力に事業化といえますか、あの状態ですから水路は、はつきりしてる訳ですから、執行方針にもありませんように50年に1度という雨がここ何年間で何回も聞くような言葉です。次の対応のために早いうちに何らかの手を打つというのが必要だと思います。その辺も含めてより強力なバックアップといえますか、整備をお願いします。行って行かなければ駄目な部分だろうと思いますので、ここで事業をやるとかやらないとかという話にはなりません。町でやれる部分は町で当然やることになると思いますけど、実施機会の強力な働きかけについては、今後ともお願いをしたいなと思っております。

A建設課長 今、湾内地区というような地名も出ました。が、町長の執行方針にも湾内地区、雄志志内地区それぞれ水の被害によって、土砂が流出した箇所については、国や北海道が、きちんとした対応をして頂けるといふことになっておりますので、今後そのような事態になった場合には、先程も申し上げました通り迅速な対応をしていきたいと思っておりますのでご理解願います。

商工費

地域振興商品券のプレミア率は
昨年同率の20パーセントを予定

Q戸嶋議員 地域振興商品券事業525万円、この商品券のプレミア率というのはどれほどのものを想定してるのか。

A産業振興課長 地域振興商品券事業のプレミア率ですが、現在想定してるのが、昨年実施したプレミア率と同じ

率の20パーセントを想定しております。販売2,500万円に対して20パーセントの率で500万円を予定しております。

商工費

滞在型観光促進事業の内容は
滞在プラン型の販売促進事業と企画開発

Q戸嶋議員 滞在型観光促進事業とありまして、委託料が1,100万円とあります。この事業内容はどのようなものなのか。

A産業振興課長 滞在型観光促進事業の委託料の内容ですが、来年は、滞在プラン型の販売促進事業と企画開発というものの2本立てで事業を実施する予定で考えております。販売促進事業としては、利尻富士町に宿泊して利尻富士町の体験メニューを実施してもらう方に対して、旅行代金の一部割引という形で、個人旅行がメインになると思うのですが、利尻島へ来て頂く方を増やしていきたいと考えております。その他に企画開発事業としては、サイクルツーリズムということで、今年動画を1つ作るうと思っております。サイクルツーリズムなどの体験型観光の情報発信をYouTube等で動画を配信することで利尻島の魅力を発信するような計画になっております。滞在型観光アプリということで、携帯を使ってスタンプラリーを出来ようという仕組みも作って行ければということと合わせて1,100万円の事業で実施したいと考えております。

Q戸嶋議員 これは誰に委託するのか、業者とかに委託してやってもらうということですか。

A産業振興課長 委託料の委託先の件は、業者の方に委託して実施したいと考えております。

商工費

今年度のプレミアム観光商品券の内容は
昨年度と同様の事業規模で考えたい

Q戸嶋議員 利尻富士町プレミアム観光商品券交付金ということで2,500万円ありますが、昨年も行われてたと思うのですが、その内容を含めて今年はどういう形で行っていくのか。

A産業振興課長 昨年度は2千万円の販売に対して25パーセントのプレミア率ということで500万円を上乗せした2,500万円の事業を実施しており、今年度も同じ事業規模で考えております。昨年は1冊2,000円で買うと2,500円使える物を1人15冊まで購入可能という形で実施したのですが、今年度の実施方法というのは、昨年の実施した部分踏まえて検討していければと考えております。

Q戸嶋議員 プレミアム観光商品券を、残して島を出て行ってしまつて、使い切らないで親元のところにおいていて、その親元がうちの店で使うというパターンが結構ありました。今年、ハートランドフェリーが島の観光事業に参加すると話を聞いておりますが、フェリーの中で使えるとなれば、そういうことが解消出来るのではないかと思うのですが、どのように考えますか。

A産業振興課長 プレミアム観光商品券の使い切れないものという話がありました。去年、制度設計した段階では、ハートランドフェリーにも使用について照会をかけています。その際は、手を挙げられなかったという経緯がありました。町としてはこのプレミアム観光商品券を使って、町内の事業者の消費喚起というものを目指しておりますので、その辺実施に当たっては関係される方々

とも十分話し合いしながら、実施していければと思っております。

商工費

商品券の額面を1,000円にしてはどうか

検討して対応したい

Q 藤井議員 プレミアム観光商品券の件で、昨年、福祉課の方から出した買い物商品券と2種類のものが同時に市場に回った訳ですが、買い物商品券は1枚の額が1,000円で、プレミアムの方は1枚が500円の券でしたが、私も年取ってるから、取り扱うに当たっては注意して、500円の場合1,000円単位で物を考える時、500円券の場合2枚を単位にして出してもらわないといけない。ところがあの券というのは何千円分かなると束で重なってくると、数え間違いもしやすい訳です。その500円券というのをやめて1,000円券にした方が、私、個人としては凄く取り扱いやすい券になるなと思うんですけど、その辺検討してもらえるか。

A 産業振興課長 観光商品券事業の時には、とくとく商品券も同時にやっていたということもあり、色や似たような部分があつて事業者の方々には、ちよつと分けるのが大変だつたというような意見を聞いており、私も反省してるところなんです。次回やる時は色もすっかり区分け出来るようにやりたいと思つてますし、1,000円単位でという部分もあるのですが、実際、観光でいらした方がお土産店でお土産買う場合1,000円以下の商品を買うケースもあると思います。そういう時に使ひ方や、たしかに1,000円の方が使いやすいという部分もありますので、十分、今時点でするという返事は出来ないですが、検討して対応していきたいと思ひます。

土木費

空港除雪体制の強化を

液体融雪剤などの導入を検討・協議したい

Q 藤井議員

2月の初め頃、暴風が鳥の場合あつて、飛行機が、1週間近く連続して欠航したような状態が発生しました。その時、私は現場を見ていた訳ではないですけど、滑走路が飛行機にとって使えるような状況になつていないと、アイスバーンと言ふのか、そういうような状態になり、着陸できないようになってるために、本日は欠航と言ふような、そういうニュースまで流れたりして、この除雪関係は、今年の町長の報告では2月は搭乗率が僅か55・2%という、対全年から見たら20%以上も下がつている状態になつてしまつた。冬の着陸が出来ないような環境というのは、出来るだけ無くすような除雪というんですか、滑走路状況を作るといふことを普段から考えてもらわなきゃならないと思ふ訳です。この度の何日間も悪い環境になつてしまつた原因というのは、一体どこにあるのか。例えば、除雪する能力が無かつたとか、或いは水を溶かす融雪剤というのですか、そういう種類の散布の薬剤が無かつたとか、人手が無かつたとか、色々あると思ふのですが、主たる原因は何だつたのか。

A 空港管理事務所長 除雪体制についてですが、現在委託先で、7車両で7人体制で行つております。常に氣候の予報などを加味しながら夜間除雪も行つております。そういった中で、今年に入りまして1番議員もご存じのとおり悪天候が続きました。滑走路の状態も一部凍結したという事例がありました。この時には、夜間除雪を行ひながら、夜中ずつと除雪作業を行つていきました。想定外の気温の変化、下がり方、風によつて滑走路が凍結したという事態になりました。そういった事態も踏まえまして、これは頻繁にあつてはならないことで、当然、

頻繁にある訳ではありませんけど、除雪体制には万全を期しておりますが、想定外の氣候の変動、条件が重なつたということでもまずご理解願ひたいと思ひます。今後こういった事象をどう対処していくかということも北海道の方に相談、投げかけて次年度以降、例えば、融雪剤を今後液体の融雪剤を導入するとか、そういったことも一部話の中で検討させて頂きながら、次年度の要求、令和4年度以降になると思ふのですが、要求しながら対応して行きたいと、北海道とも今後、協議していきたいと思ひますので、ご理解賜りたいと思ひます。

Q 藤井議員 滑走路の凍結という問題があつたという、予想外の事態になつたという話は分かりましたが、今は普通、鳥と本土との間は船とありますけど、どちらかというと飛行機の方がかなり利便性が高い輸送システムですので、特に年を取つた人は、病院へ通う時は、空路を利用して予約の日にも合わせて出るといふケースが多いですから、その辺は昔と違つて、もう少し重視して物事に対応してもらいたいという感じは持つてゐる訳です。というのは、私も町長の文章の中にも入つてましたけど、油関係の国の補助金使つてやつてるんですけど、その報告書なんかは飛行機で送ればいいのか、それ、船で送るタイプですので、速達で出しても札幌まで届くのは1週間たつて届くというように、そういう悪天候に鳥は覆われる訳です。人も飛行機で行こうとしても、約4日間ぐらいは全然飛行機が使えない状態で、出れないというのともどうかと思ふ訳です。そういう中でも空路は期待されてますので、今聞くと融雪剤が何かで来年度使つてやるといふような話が出ましたけど、これは今年度からでもそういう体制をとれるように考えられないものなのか。

A 空港管理事務所長 こういった結果になつたことは私も責任を痛感しておりますけども、そういったことも踏

まえて、融雪剤、当然、空港では固形のもの管理してあります。ただ予算の関係上、液体のものとなると単価的にも高い面もありますし、今現在常備できていないということもあります。ただそういったものも踏まえて、今1番議員がおっしゃる様に離島航空路線というのは大事な路線ですし、切っても切れない生活路線でありますので、その辺も含めて北海道には強く要望して、令和3年度内の追加配当等のことも考えて頂きながら要望していきたいと考えてますのでご理解賜りたいと思います。

Q 藤井議員 ご理解願いたいという話ばかりになっちゃうんですけども、だけど考えてみれば利尻島の場合には有人定住離島というのですか、なんか特別な法律があつて、本土と変わらないぐらいの住む環境にするための法律だと伺ってますけど、そういうものを利用して、道とか国へ働きかけていこうという、そういう気構えはないのですか。

A 町長 空港の凍結になったという話の中で、所長からも想定外だという話がありましたけど、私も町長2期8年で纏めに入ってますけど、この間で、滑走路が凍って飛行機が着陸できなかったというのは、恐らく今年が初めてだったと思つてます。そういう中では想定外の気象条件だったというのが、空港の所長からも聞いておりますし、確か5日間連続、2月入って欠航したのが最大だと記憶してますけど、その内、最初の方はあくまでも滑走路は凍ってなく、本当に気象条件が悪くて欠航した訳で、そのあと2日、3日は確かに滑走路の凍結ということで、職員はじめ委託先の業者も夜を徹して融雪剤を撒いたり、融雪剤を撒いて溶ければ良いのでしょうか、その気象状況によつては、一旦気温が上がって滑走路が使えるかなと思うと、また雪や気温が下がって凍っちゃうというようなこともありまして、その辺はある程度理解して貰わないと、予算の話もされましてけど、北海道の管理空港でございますから、融雪剤も固形のもの

と、私今初めて液体のものがあるというのを聞きましたけど、恐らく数倍単価的にも高いのでしようけども、それを導入するに当つても北海道に交渉しないと駄目な訳ですから、それを北海道が駄目だと言われた時に、町費を使ってやりますかとなった時、莫大なお金が掛かる訳です。それを町が負担しなければ駄目なのかという問題も起きてきますので、今年そういうような事象があつたということ、これから私も色々道庁に伺うこともありますので、それはそういうことで担当の方に、なんとかそういうような融雪剤を導入できませんかとお願ひに行きますけど、あくまでも気象条件ということもありますので、そこはご理解頂かないと、確かに国境有人離島という法律が出来て、本土並みというような運賃の低廉化ということにもなつておりますので、そこは一つの成果だったと私も思つておりますし、滑走路が凍結しないというのは、これはもう一番の課題でありますけども、それはもう今回私も聞いてますけども、先程も言ったように職員、業者、夜を徹して作業をしますので、これからも気象条件に合わせて、除雪体制を組むと思ひますので、そこは何かご理解頂いて、あつてはならないかもしれせんけども、凍つたことを考えても、今回これだけ気象条件悪い中でも2日ないし3日でございますので、その辺はご理解頂きたいと考えております。

教育費

民法改正に伴う 成人式の年齢の取り扱いは

これまでどおり二十歳が対象

Q 飯田議員 社会教育総務費で成人式等行事報償費で予算は6万5千円計上ですが、金額的なことではありませぬ。最近の報道等でありましたが、来年4月から民法改正され、成人の満年齢が十八歳に引き下げになるというようなことが決まっております。新年度、令和3年度の

予算審議の中で、少し早いとも思いますが、本町での成人式での年齢の考え方、対象年齢をどう捉えていくのか。あくまでも二十歳というのを基準にするのか。それとも民法改正にある十八歳というようになことに変更しようとする協議などをしていくのか。その辺も含めてどのように考えているのか。

A 教委次長補佐 現段階では、これまで通り二十歳を対象として考えております。ただ成人式といいますが、名称については、例えば二十歳の集いですとかそういったことも含めて、今後内容については検討していきたいと思ひます。

特別会計質疑

「介護サービス特別会計」

Q 藤井議員 ①サービス特別会計の予算の組み方、全体的に令和2年度の利用者の実績に合わせた形で減額した予算の組み方してるのかという印象を持つ訳です。今、課長からの説明だと道支出金などは2億3,1000万円からの減額とか、一般会計繰入も1,4000万円からの減額で、この組み方というのは全般的に利用者が少ないから規模を縮小したようなサービスの予算になつてると理解して構わないのか。

②介護ロボットの導入補助金が道から46万6千円付いてる訳で、自動ベッドに使つてるといふ訳ですけども、ロボットの概念というのが私には分からないんですけど、どこまでロボット化していく考えがあつて、これを設けて行つてゐるのか。

A 秀峰園長 ①歳入についての減額の理由といいますが、道支出金の減とかに伴い、昨年うちの施設整備を行ったときに、道補助金を頂きました。それがすっぱり無くな

ったということで減額が生じております。その分としては町債についても工事費の関係で減額が発生している、後は繰入金については、差引分ということで考えて頂ければいいと思います。今年についての町債はもう一つ増えたサービスセンターの町債がありますので、その分を載せているという考え方です。ただ、議員さんがおっしゃるように昨年の利用者の実績を踏まえた収入の減というのは1款、2款、3款についてはそのように見込んでおりますし、今言われた5款から支出金の関係と繰入金等については、私が答弁したような内容になっております。

A老健施設長 ②介護ロボットと名称ありますけども、これに関しては利用者の異常に関する補助器具ですとか、様々な器具があります。その中で今回、電動ベッド2台の更新ということで、開設当初から使用していた電動ベッドを更新するものなのですが、この電動ベッドは見守り機能を搭載した電動ベッドでして、通常の電動ベッドとは、介護ロボットのメニューにあります見守りという部分に即した電動ベッドを購入するというので、このメニューに該当するという事です。

Q藤井議員 ①予算の規模の話については、園長の方から説明あったのが主たる原因かもしれませんけども、実際、介護関係の巷のニュースなどでは利用者が落ち込んでいっているという話もよく聞きますので、やはりこの田舎であつても利用者が減ってきているというのはコロナによって起こつてるといのが現実で、それを反映したような予算組みをされたと理解してもよろしいですか。

A秀峰園長 ①今現在うちの施設に限って言いますと50名の定員の所を43名ということで、7名の空きはございます。うちの施設としては亡くなる方と新規に入ってくる方の割合なんですけども、最近新規で声掛けしてるの

ですが、中々はい分かりましたと言う返事は貰えないというのが現実で、ちよつと待つてくれというのが結構多くなつてきています。と言うのは、それぞれ家庭の事情等もありますし、今ユニット型ということになりました。料金も値上がりしたというのもあるとは思うのですが、これからは今7名の空がありますけども、4月以降入所に向けては随時入れて行きたいとは思っておりますのでご理解願いたいと思います。

Q藤井議員 ②ロボット化というのは今、第一弾として電動ベッドをロボット化という、電動で動くというのは利用している入所者が自分で動かすことが出来るのか、それとも職員が操作して動かすことが出来るのか、また遠隔でも動かすことが出来るのか、或いは監視も出来るのか、色々あるのだろうとは思うのですが、ロボット化にはベッドばかりではないと思います。働いている職員の筋肉労働を出来るだけ軽減するためのアームとか、補助するような、色々あると思うのです。それと案内するロボットとか色々あると思うのですが、どこまでロボット化していくのか1つ聞きたいと思うし、電動ベッドも本年度で2台、前年度で2台で4台、全部電動化するとなると三十何台電動化するというように理解しているのですか。

A老健施設長 ②3点質問があつたと思いますが、まず1つ目の電動ベッドの機能という部分だと思いますが、自動的にリモコンで、自分でも操作できますし、介護者職員が操作出来るようなリモコンタイプの部分を使つておりまして、先程、見守りのセンサーの機能につきましてはベッドから離れた時にナースコール等が作動するような機能も備えております。2つ目のロボットの部分についてなんですけども、様々な介護補助するような体にアームですとかそういうのを付けた色々な補助をする器具があります。展示会も1年に1回ありまして、私も見

には行つてゐるのですが、中々操作するといいますが、かなりレクチャーが必要でして、そういう部分も含めて今後導入する際には、きちつと職員にレクチャーしながら導入も考えて行きたいと思つております。電動ベッド2台、今回導入しましたけども、今年度2台導入して、4台を来年度も含めて導入することにはなりません。開設当初から20年以上が経過して古いタイプになってまして、その分もこれから年次計画に基づいて入れていきたいなど考えています。

Q藤井議員 今、電動ベッドの話の台数が今のところ4台みたいですけど、私聞いたのは介護施設にある40台近いベッドがあると思うのですが、それ全部電動化するということ、将来は全部電動化する方向で予算組みしていくのかということをまず聞いてたのですが、さらに追加して色々な遠隔操作も出来るような話もありましたけど、ベッドを使つてゐる人が離れたらナースコールが作動するようになつてゐるという話ですけど、安全面の方は万全な状態の電動ベッドになつてゐるのか、再確認したいんですけどよろしくお願いします。

A老健施設長 全てのベッドを電動化するかという質問なんですけど、これからは、旧タイプではなく電動化した最新のベッドを今後は導入していきたいと考えております。あと安全面といいますが、離れた時にナースコールが鳴る、実際そうなりますといち早く職員が駆け付けたりとか、安全面には職員の方にも指導しながら、適切に対応するよう今後指導していきたいと思つています。

【国民健康保険施設特別会計】

Q戸嶋議員 整形の収入はどのように分けられているのか。

A副町長 整形の収入につきましては、予算の中では分けられておりません。診療収入の中に含まれているということになってます。ちなみに今まで2月分まで、収入で35万円程、支出で20万円程になりますので整形だけでの黒字としては15万7千円程黒字という形になっております。

総括質疑

町長・教育長の執行方針に対する主な質疑

■伊藤議員 町長の執行方針の中で、離島住民の利便性向上と生活基盤の改善という言葉があります。フェリー運賃について、或いは航空路利用について離島割引をするということになっておりますけれども、これは大歓迎の施策だと思っております。まず1つに昨年8月から11月までの期間限定ではありましたが、コロナ対策の事業として車両航空運賃の半額補助ということがありました。このことにおいては感染症リスクの低下、町民の経済的負担の軽減、またフェリー事業者への支援として貢献をされております。これはまさに一石三鳥の事業であったと思えます。ということで今年度においても未だコロナ感染症の時期であります。町外に出る場合は、内陸の町村においてもコロナの終息は、まだまだ先だと思っております。そういう点から、航送料半額補助ということを町長の執行方針において踏み込んで頂きたかったと思っておりますが、町長の思いを答弁願います。

【町長】 フェリー積載自動車航送料金の関係で、収支等につきましては2番議員の質問のとおりだと思っております。今後においても半額助成をするのかというようなことですが、昨年、助成した分については330万円程予算算みましたが、執行額が310数万円と

いうことでほぼ100パーセント執行したという状況でございます。大変住民の方々からも喜ばれていた事業だなどは私も住民の方々から聞いておりますし、昨年後半あたりから令和3年度も実施しないのかというような声も聞かされておりましたけれども、その時点ではあくまでもコロナ対策のための航送料金の助成ということを申し上げまして、令和3年度予算ですからその時点では、やるやらないは言及しておりませんでしたけれども、国のコロナの関係の臨時交付金も、第3次まで交付されまして、その使途について色々各担当課長から色々な事業等について要望は来ておりました、新しい年度に入ってから実施しようかなという分についてもありますけれども、補正予算の審議の中でも町の新しい生活様式ということでも、繰越明許で1,000万円翌年度に繰越した予算も議決頂きましたけれども、それは趣旨として観光バスのフェリーに積載分についての半額助成というように数字を繰越しましたけれども、その中で1,000万円という数字が使用してもらえないのか、もらえないのかという部分もありますけれども、コロナのこれからの感染状況にもよりまして、その1,000万円の予算等を活用しながら、色々色々な町内の会議等、或いはイベント等もありますのでその中で住民の方々の意見を聞いてみたいと思っておりますけれども、住民の声を聞くということでは、大変良い支援だということでは、やって下さいという答えが大半だと思えますけれども、ちょっと質問の趣旨からはずれるかもしれませんが、ポストコロナを見て、職員にも色々なコロナの関係では支援はして頂きましたけれども、それが恒常的にこれからもやってくれるんだらうというようなことになれば町の財政も大変なことになりますので、その辺ははじめをつけながら色々なポストコロナ後の予算の執行をしたいと思っておりますけれども、今2番議員から言われた質問内容に対して前向きに検討したいと思っておりますのでご理解を賜りたいと思います。

■伊藤議員 前向きな答弁でありがありがとうございます。限りある財政ですから、あれもこれもという訳には行かないと思うのですが、町民の利便性を図るという意味合いでは是非とも考えて頂きたいと思えます。

■藤井議員 ①町長の執行方針の関連で、旭浜地区は国勢橋と旭浜橋の工事が完成となりというようなことと、それから野中、石崎地区の橋梁改修というような話も出てくる訳ですが、野中の関連で特に聞きたいのですが、でも、工事関係は小規模横山工事で名無川と言っていますが、それを改修工事もある訳ですけど、町長は度々地元自治会とも話されていると思うけれども、野中地区の道道拡幅改修工事というのは当然話題に上っていると思うのですが、その辺はどういう話を聞いて、あそこの道道は島の中ではすごく危険な区域でありまして、この冬も車両が坂の所で脱輪するというようなこともあったり、通常のトラックでもあそこを通る時は荷物を空にならないような形で加重かけながら登坂していくような、気を遣いながら通過しなければならぬような、危険な個所であると認識されている訳ですけども、野中の方の住民から何十年も前から道路の改良工事を願っていると思うのですが、その話や実際の工事としていつ頃されるのか。その辺をこの橋梁の改修と河川の改修がありますので、合わせて話を伺いたいと思えます。



②地域保健事業計画で、要するに健常な年寄りと介護が必要になる年寄りと中間層の人たち、フレイルとかつて表現で使われるんですけど、事業がこの資料の中にはどこにも出てこない訳です。事業をどの辺に位置付けてやられるのか伺いたい。

【町長】①野中地区に限定しての質問かと思いますが、北海道建設管理部の方で所管しておりますけど、年に2回ほど町と稚内の建設管理部とは会議やります。その中で、町の色んな道路ばかりでなく道に関わる部分の要望事項は毎年更新しながら要望しており、その後、2回目の会議で結論みたいなものを時期はいついつだとか予算的にはこうなるようなお話を町と北海道と色々協議する訳でございますが、当然、野中地区の道路の改良についても、要望事項としてはこぞずっと、相当の期間要望してはいることは間違いありません。その中で道の方の返事は、今鴛泊の市街地が終わり、今旭浜なり鯉泊地区なりに行ってる関係で、その後野中ばかりでなく、他の地区もありまして、結論から言いますと時期等は不明だと返事は貰っております。中々地形的にも難しい地区なんでしょうけれど、道側に言わせると十数年前に色んな構想等も地区住民にも交渉したような経緯ありますけども、その中でも色々と導線の関係上、中々話もつかなくなつたということも聞いておりますし、相当、今1番議員年月等はいつ頃というような質問されましたけど、今の段階ではいつなんだということも、全く調査等もいつごろから始まるのかということも私の今の段階では答えられないところがございます。あと橋梁だとか河川の話もありましたけどそれはその都度橋梁につきましても毎年のように調査しておりますし、河川につきましても近年の大雨災害等により今まで水が出なかつた河川とか色々ありますので、その辺は関係機関と調整しながら、進めて参りたいなと思っております。

②地域保健計画の中にそのフレイルの関係が載っていない

というようなお話でございましたけども、フレイルというその言葉ですけども、昨年コロナの関係で高齢者といいますが、そういう方々が中々外出機会もないという中では、介護が必要になる前の段階で色々な保健事業をやりながら、その中で健康に生活をして頂くというようなことだと思えます。私も昨年コロナ禍で初めて聞いた言葉でございますけど、事業そのものは新年度予算にはこれがフレイル対策だというのは載って無いと思えますけど、日常の保健師の保健活動の中で色々家庭訪問したり、色々な地区の関係の高齢者対策も行ってありますので、その中でフレイル対策をやっていくと理解して頂きたいと思えます。

■藤井議員 ①何十年も要請されてることだから、耳に聒聒が出来る程聞いているのだと思えますけども、道の方としては依然としていつ頃やるとか、調査するとかそういうような話もまだ十分なことが出てないということ、しばらく断念してたような感じの話にも聞こえたんですけども、やはり住んでる住民とか、道路を利用して通行する人から見れば、非常に大変な個所であるってことは分かって、大きな事故にならない前に道路を改修して、特に冬の吹雪とか路面が凍結してる場合などは大変な目に遭ってるということを再三聞きますので、是非町長の方から道に現状と言うのですか、過去の小さな事故例も含めて申請にあたっては要望を上げてもらえないかなと思ひまして、今日質問した訳で、町長の努力になると思うんですけど、よろしくお願ひします。

【町長】①色々な出先機関を回った時も道道の改良については要望しておりますので、先ほども時期等についてはいつ頃になるのかなというのには全く答えられない訳でございますけども、これからもそういう中では活動していきたいなと思っております。

■藤井議員 ①道の方との話し合いがそれだけ設けられるのでしたら、漠然とした話じゃなくて事故の件数とか事故にならないような小さなやつも含めて道の方に訴えて行くという手もあるんじゃないかなと思ひます。そしてこの冬は、通行止めになつた件数、日には例年の倍くらいの件数が発生したような感じもして、特にあそこの難所であるところが駄目だと、全道的に通行止めになきゃならないという問題も発生するのじゃないかなと思ひます。そういうことも含めて細かな小さな事故とかも含めた話を道の方に訴え掛けた方がいいのではないかと思ひますので、1つよろしくお願ひします。

②今、保健センターの事業計画の中のどの項目に入る訳じゃないような感じの、職員が適当にフレイルの業務をこなしていくような、そんな印象の話に聞こえたんですけど、私は介護予防支援というんですか、そういう当たりの事業計画になつてるのかなと勝手に解釈してるんですけど、その辺念の為もし分かることであれば答えて頂きたい。

【町長】②言葉でフレイル対策というのも難しいかなと思っておりますけど、介護を必要とする段階の前の対策ということで、特に今年には予算的なものは見ておりません。日常の保健活動の中でそういうものをやったり地域といいますか、高齢者の方々を外に出したり、集団で集まって会話をしたりすることで心の健康というのもあるんですけど、これからコロナの関係でも色々と振り分けて行くのが、これからコロナの関係でも色々と振り分けて行くんですけども、その中でこれが1つのフレイル対策のものなんだよというようなものを保健師と相談しながら、日々の保健活動の中でそういうものを打ち出して行きたいと思っておりますので、ご理解頂ければ、あくまでも介護を必要とする前の段階のことですので、介護保険事業とはまた違うんだということを理解しながらこれ

から保健師と相談しながら進めて参りたいと思っておりますのでご理解願いたいと思います。

■戸嶋議員 私からは、令和3年度の一般会計の予算書にある各種イベント等にはとりあえず予算がついてある訳であります。けれども、ワクチン接種が始まる段階での飲食を伴うイベント等の開催というものは中々ハードルが高く、実際に行われるかどうかは厳しいものがあると予想されるのであります。そういった中で、イベントが全く去年から無いという寂しい状況を町民としても悲しいことだと思っております。何か開催する方法はないのかと考えた場合に、3密を避けながらソーシャルディスタンスを守り、職員に負担をかけないような形で行えるものとするれば、やはり花火大会しかないのではと思っております。コロナ対策でご苦労されている方々の苦勞を労うような意味を込めまして、花火大会の開催を検討してはいかがかなと思っておりますが、町長としてどう思われますでしょうか。

【町長】 通常のイベントの予算等につきましては、令和3年度開催すべくこれは予算は計上しているというところで、ご理解頂いてるかなと思っております。中々コロナの感染がいつ頃終息に向かっているのかというのも私からの判断では中々厳しいものがあると思っております。イベント、行事、飲食を伴うものは私もやりたいなと思っております。現段階では北海道からもあのような通知が来ておまして、特に年度末の歓送迎会等については控えるようにということも北海道知事がメッセージで発信しております。これから春の雪解け後のイベント等について、花火大会というものに特化した質問でございます。花火大会ばかりでなく町の色々なイベントを開催したいなと思っております。そこには制約も当然あるのでしようから、どのような形で開催するかは今後するかしないかも含めて職員とも相談しながら、住

民の声も聞きながら判断します。本当に昨年1年間イベント開催しなかったことよって確かに経済的な打撃というものも大きかったと思うんですけど、それ以上に人の繋がりがいいですか、そっちの方が逆に人の交わりが少ない中では一番、役場なんかもそうなんですけど、新しく採用した職員も特に島外から採用になった職員等も色々な交流の場もなかった訳です。今日も午前中利小と鬼中の卒業式行ってきましたけど、先生方の顔も校長含め教頭も、中々年間通して会うことも出来ないし、イベントがあれば色々な会場で先生方とも交流出来る場面があるんでしようけれど、そういう中で人も人の繋がりが中々出来ていないということが一番、経済も大事ですけど人の繋がりがというのも大事なのかなと思っております。そういうのも考えればイベント等は、色々な制約の中でも開催したいとは思っておりますし、前に進まないし何事も駄目な訳でございますので、1つ今提案もいたしました花火大会、確かに花火観覧するためにも車の中だとか、ソーシャルを取りながらということも出来る1つのイベントかなと思っております。なので、鳥祭りの実行委員会等の方々とも意見を聞きながら、花火も議題の1つとして検討しときます。他のイベント等についても今年は何とか開催したいなと思っております。ご理解賜りたいと思っております。

■戸嶋議員 やはり何かないと本当に町民が疲弊してしまいます。やはりマインドを高めていかないと皆様寂しいと思われると思います。その各種イベント等は花火大会に関わらず、各種イベントの開催については職員とよく話し合っただけという形で開催出来るのかということとを議論して欲しいと思います。

【条例の制定及び一部改正等】

□利尻富士町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正
過疎地域自立促進特別措置法の改正に伴い、期間が令和6年3月31日までとする一部改正
【原案可決】

□新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための利尻富士町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の一部改正
法律の改正に伴い、傷病手当支給の適用期間が令和3年6月30日まで延長される一部改正
【原案可決】

□利尻富士町介護保険条例の一部改正
第8期利尻富士町介護保険計画に基づく、令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者の保険料の一部改正
【原案可決】

□利尻富士町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正
□利尻富士町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

□利尻富士町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
□利尻富士町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

□省令の改正に伴う、4条例の一部改正
【原案可決】

□利尻富士町道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正
道路法の改正に伴う、条例の一部改正

【原案可決】

【質疑】

Q岡本議員 町の管理する道路で該当する箇所はあるか。

A建設課長 全国的にどこの市町村も道路法が改正され、道路構造令も改正するということで、該当する、該当しないというのではなく、法律の改正による一部改正というところでご理解頂きたい。

Q岡本議員 歩行者利便増進道路は、高齢者や障害者の移動等を円滑にという法律ですが、全国的にもそういう法律が出来るということで、これからも色々と町道は老朽化が激しいし、その辺踏まえて考えて行ってほしい。

□利尻郡学校給食組合規約の変更について
分担金割合を両町それぞれ50パーセントにする変更

【原案可決】



令和2年度各会計補正予算

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計(第7号)	4,808,879千円	116,995千円	4,925,874千円
簡易水道事業特別会計(第1号)	69,911千円	727千円	70,638千円
下水道事業特別会計(第1号)	205,840千円	7,527千円	213,367千円
港湾整備事業特別会計(第3号)	95,191千円	87千円	95,278千円
温泉事業特別会計(第2号)	61,685千円	965千円	62,650千円
国民健康保険事業特別会計(第1号)	421,299千円	△15,683千円	405,616千円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	55,059千円	△5,734千円	49,325千円
介護保険事業特別会計(第2号)	338,201千円	11,506千円	349,707千円
介護サービス特別会計(第3号)	1,994,740千円	△17,394千円	1,977,346千円
歯科施設特別会計(第3号)	73,594千円	930千円	74,524千円
国民健康保険施設特別会計(第3号)	76,820千円	△2,635千円	74,185千円

議会日誌

- | | |
|---|---------------------------------|
| 2月10日 全国離島議長会総会(WEBC会議) | 3月17日 利尻島国保中央病院組合議会 |
| 19日 利尻富士温泉入浴者130万人セレモニー
総務民協産建常任委員会
広報・広聴常任委員会
議員協議会 | 20日 鴛泊小学校卒業証書授与式 |
| 3月3日 議会運営委員会 | 26日 利尻富士町教職員離任式 |
| 10日 定例会3月会議(～12日) | 29日 定例会3月第2回会議
議員協議会 |
| 12日 利尻小学校・鬼脇中学校卒業証書授与式 | 4月7日 利尻小学校・鬼脇中学校入学式
鴛泊中学校入学式 |
| 13日 鴛泊小学校卒業式 | 8日 鴛泊小学校入学式 |
| 16日 利尻郡学校給食組合議会
利尻郡清掃施設組合議会 | 13日 議員協議会 |
| 17日 利尻礼文消防事務組合議会 | 19日 宗谷町村議会議長会総会 |
| | 23日 利尻富士町観光協会総会 |

行政報告

■利尻空港利用状況

	12月	1月	2月
JAL (HAC)	838人	924人	781人
搭乗率	39.2%	53.5%	55.2%
(前年同月比)	(△538人)	(△613人)	(△495人)

■新型コロナウイルスワクチン接種について

北海道からの連絡では、国から北海道への高齢者向けワクチン供給数であります。4月5日の週で2箱、1箱は現在975人分と言われております。4月12日の週で10箱、4月19日の週で10箱、ここまであくまでも北海道に対してのものであります。配布先は北海道が決定するものであります。なお、今朝の北海道からの連絡では4月5日から19日の週に北海道に供給される22箱について2次医療圏ごとに、北海道には21の2次医療圏がありますが、2次医療圏ごとに各1箱配るとのことです。宗谷管内については、稚内市が2次医療圏の中心でありますので稚内市に配布されるということでもあります。その後、4月26日の週には全市町村に1箱ずつ配布する予定となっております。配布日等の詳しいことはまだ連絡がきておりません。ディープフリーザー冷凍庫がありますが、冷凍庫につきましては、3月29日に保健センターに届く予定であり、設置も全て行ってくれるとのことでもあります。ワクチン接種に対するチラシをお手元に配布してありますが、全世帯に配布し、今後も何回かに分けて接種に対する情報を住民に提供いたします。

■第8期利尻富士町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

本年1月20日に私から諮問いたしました計画であります。2月24日に答申を頂きました。ご審議頂いた結果、計画を基本方針として1つ目は健康と生活支援の充実。2つ目は地域の支え合いの推進。3つ目はやすらぎと尊厳の確保。4つ目は介護保険サービスの適正な運営の4項目に渡って意見を頂いております。今後、高齢者福祉計画、介護保険事業計画を実施するに当たっては、本意見を尊重しながら町民の生活、経済環境等を考慮しながら進めて参りたいと思っております。

■ふるさと納税について

3月8日現在で多くの方々からご寄付がり、3億4,060万円あります。多くの方々に感謝申し上げ有効に活用させていただきます。また、ふるさと納税された方の中から抽選で町から感謝を込めましてふるさと納税ダブルチャンス企画ということで、A賞として20名の方に5万円のトラベルギフト券、これにプラスしまして利尻富士町町内商品券1万円分、B賞として30名の方に白い恋人詰合せ3,000円相当をプレゼントすることで、2月9日に抽選を終了しまして3月に発送し、実施いたしました。

■利尻富士町消防団鬼脇地区分団編成について

鬼脇地区の南、北分団の団員数がそれぞれ10名を割り、南分団が5名、北分団が7名となり、この先も増員が見込まれず、分団の活動に今後支障をきたすのではないかとということで、鬼脇地区の分団で分団の編成を協議検討した結果、鬼脇地区の3分団を統合し、鬼脇中央分団へ南、北分団を編入するということで決定しました。その後、手続きを踏み3月4日に開催した副分団以上の幹部会議において承認され、4月1日から鬼脇中央分団として運用されることになりました。

■宗谷定住自立権共生ビジョンについて

令和3年度から7年度までの5年間の第3期計画であります。この度の改定については第2期計画から成果指標や数値目標の見直し等による軽微な変更のみであり、協定で定める政策分野や施策の変更等議会の議決が必要となる変更は行われておりませんので、稚内市と周辺町村での書面開催による市町村長懇談会により改定が行われる運びとなっております。

編集後記

春光うららかな季節になり、利尻富士も雪解け間近か、山肌が白から緑へと衣替えの兆しが見えて来ましたが、それでも中々気温が上がらない毎日、町民の皆様は如何お過ごしでしょうか。令和元年12月、武漢からの新型コロナウイルスが上陸し1年と5ヶ月、未だ衰えず猛威を振るって、収束の兆しが見えません。4月に入り、全国では1,000人、500人超えと連日報道されています。利尻富士町も令和2年11月に27名の感染者が出ましたが、現在は完治し復帰されています。4月15日現在、北海道では22,076人、死者数790人に上っています。これ以上感染者、死者を出さない為、国、北海道が連携し早期の収束を期待し、早く観光・漁業・飲食業が復活する事を切に願い、令和3年町民の皆様が健康で明るく暮らせる事をご祈念申し上げます。

広報・広聴常任委員会一同

議会に行こう!

議会傍聴は議会活動に触れるもっとも身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを是非ご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場3階傍聴席入口までお越しください。



広報・広聴常任委員会

委員長／白戸 浩明

副委員長／安楽 昌弘

委員／藤井孝二郎 伊藤 信勝

戸嶋 郁夫 岡本 晴樹

佐々木 勝 飯田 睦穂

前田 芳久

議会の詳しい情報は利尻富士町ホームページへ

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>

『定例会3月第2回会議』(3月29日)

- 利尻富士町立特別養護老人ホーム設置条例の一部改正
- 利尻富士町デイサービスセンター設置条例の一部改正
- 利尻島老人保健施設条例の一部改正
- 介護報酬改正に伴い、利用者負担額に介護保険法の規定を準用するための一部改正

【原案可決】

- 正 □利尻富士町新型コロナウイルス感染症緊急対策子等補給条例の一部改正
- 期間延長に伴う、補給条件の変更による一部改正

【原案可決】

- 令和2年度利尻富士町一般会計補正予算(第8号)
- 歳入歳出にそれぞれ7,185万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ49億9,772万4千円と定める

【補正の主な内容】

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、町道除雪業務委託料等

【原案可決】

常任委員会レポート

■総務民教産建常任委員会 (2月19日)

(1)新型コロナウイルス感染症防止対策費の執行状況及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用状況等現況調査

〈調査意見〉

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから1年が経過したが、この間、感染拡大防止のため緊急事態宣言が発令されるなど、人の移動が大きく制限され地域経済に甚大な影響を及ぼしている。

町内においては、来島客の大幅な減少をはじめ、外出自粛に伴う需要の減少が魚価低迷や小売業、飲食業等にも影響し、各方面で今まで経験のない危機的な経営状況となっている。また、各学校においても一斉休校が実施されるなど、児童生徒の学習時間も懸念された。

そういった中で、町では国の交付金等を活用しながら6次に渡り補正予算を編成し、経済対策や感染拡大防止を迅速かつ着実に実行し、概ね所期の目的を達成したことは、町内経済や住民生活安定の下支えに寄与したものと認められる。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見通せない状況にあることから、今後も感染拡大防止対策はもとより、経済状況を的確に捉えた施策の展開を望みます。

■広報・広聴常任委員会 (2月19日)

(1)議会だより利尻富士No.190の編集についての調査及び協議